

平成 29 年 1 月 11 日

農学系教育研究組織設置準備室が

新任教員（高田 大輔 准教授）を採用

農学系教育研究組織設置準備室は、平成 28 年 12 月 1 日付で高田大輔准教授を採用しましたので、ご報告いたします。

○高田 大輔（たかた だいすけ）准教授

（元東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構 助教）

【専門分野】

果樹園芸学

【研究活動の概要・今後の抱負】

東京電力福島第一原発事故以降、**放射性セシウム**の果樹樹体内における動態について様々な研究を行なってきました。例えば、果樹の樹体表面（樹皮）に多くの放射性セシウムが付着していることを突き止め、この成果は事故翌年に実施された樹皮の高圧洗浄によるセシウム除去へとつながりました。現在も、果実中の放射性セシウムの量を低減する試験を試みるとともに、長期にわたる果樹園内でのセシウムの変化を捉える研究を行っています。

放射性セシウムの問題以外にも、果樹の栽培から流通までの様々な問題に対して取り組んでいます。果樹の栽培では、果肉障害の低減やドローン・3D 画像を用いた樹形の改善等に取り組んでいる他、昨今、注視されつつある青果物の海外輸出についても、流通環境に関する調査や嗜好性の現地検証を継続していきたいと考えています。

設置構想中の**食農学類（仮称）**は、福島における農学の基礎を再構成するための重要な学類です。その設置に当たっては、県内外の幅広い方々と連携・意見交換を重ね、将来の福島の農業を支える卒業生を輩出すべく、設置準備の業務に邁進したいです。

（お問い合わせ先）

農学系教育研究組織設置準備室長

青柳 斉

電 話：024-503-4060

メール：r814@ipc.fukushima-u.ac.jp

農学系教育研究組織設置準備室 准教授

高田 大輔

電 話：024-503-4061

メール：r841@ipc.fukushima-u.ac.jp